

# 認定こども園 下関短期大学付属第一幼稚園 自己評価表

令和 元 年度

## 1. 教育理念

### 1) 園の教育方針

(人)

	A	B	C	D
・園の教育方針を理解している	2	6	0	0

## 2. 保育の計画性

### 1) 教育課程

・園の教育課程を理解している	2	6	0	0
・教育課程をもとに指導計画を立てている	3	5	0	0

### 2) 指導計画（期案）

・指導計画は教育要領・教育課程・幼児の実態などをもとに考えて作成している	4	4	0	0
・指導計画は常に見直しを行っている	4	4	0	0

### 3) 週案・日案

・期案をもとに幼児の実態に合わせている	4	4	0	0
・子どもの様子や発達状況を考慮し、綿密な日案を立てている	4	4	0	0

## 3. 保育の実践

### 1) 5領域

・健康・人間関係・環境・言葉・表現について、それぞれ工夫して保育を実践している	2	6	0	0
---	---	---	---	---

### 2) 子どもとのかかわり

・子どもの心身の状況や変化を常に把握している	6	2	0	0
・子どもの話をよく聞き、常に子どもの気持ちを受け止められるよう気をつけている	4	4	0	0
・子どもの発達や性格に応じたかかわり方を実践している	5	3	0	0
・どの子にも平等に接し、人権を尊重して保育にあたっている	5	3	0	0

### 3) 自由遊びの過ごし方

・子どもが遊んでいる場所を均等に見て回り、安全に気を配っている	5	3	0	0
・できるだけ戸外遊びを多く取り入れるよう心がけている	7	1	0	0

### 4) 教師間の連携

・子どもについて常に教師同士で話し合い、クラスを超えて情報交換を心がけている	2	4	2	0
--	---	---	---	---

・クラスに関係なく、その場にいた教師が適切な言葉かけや対応をしている。また、情報を共有している	5	3	0	0
・教師間で保育技術や保育方法の意見交換を心がけている	2	4	2	0
・欠席、バス乗降の変更、預かりなどの連絡を受けた場合、担当に連絡している	5	3	0	0

#### 5) 保育の記録・反省

・一人ひとりの子どもをよく観察するよう心がけている	6	2	0	0
・クラスの運営や子どもの生活またはそだちを毎日記録している	4	3	1	0
・反省を踏まえ、次の日の保育に活かす工夫をしている	3	5	0	0

### 4. 学級経営

#### 1) 保育室の管理

・保育室内の整理整頓を心がけ、掃除がいきとどいている	4	3	1	0
・手洗い台、コップ置きの衛生面に気を配り掃除がいきとどいている	6	2	0	0

#### 2) 事務処理

・出席簿、日案（週案）などは毎日正確に記入している	8	0	0	0
・配布物は決められた期日に配布している	8	0	0	0
・保護者からの通信について適切に対応している	7	1	0	0
・保護者からの提出物、現金など注意深く管理している	6	2	0	0
・保護者への配布プリントには必ず目を通し、内容を理解している	4	4	0	0

### 5. 保育能力向上

#### 1) 研修・研究への意欲

・研修会に進んで参加する	2	4	1	1
・保育関連の専門書や専門雑誌を読んでいる	1	4	3	0
・研修会で習得したことを実際の保育に活かしている	3	3	1	1
・教材研究は妥協せず、十分行っている	2	3	2	1

### 6. 保護者とのかかわり

#### 1) 情報の発信と受信

・保護者からの依頼や質問、相談などには自己判断せず適切に対応している	3	5	0	0
・子どもの変化はその日のうちに保護者に連絡をしている	4	4	0	0
・クラスだよりなどで、保育の実践の内容や意図、クラスの子どもの様子を分かりやすく伝える工夫をしている	4	4	0	0

#### 2) 支援

・保護者からの意見、要望については安易に受けたり断ったりせず、所属長に報告・相談をしている	7	1	0	0
---	---	---	---	---

・保護者への支援が可能な部分については、所属長・他の職員合意のもとで行っている	6	2	0	0
---	---	---	---	---

### 3) 良識とモラル

・子どもや保護者の対応には、公平さを欠かさないようにしている	8	0	0	0
・個々の子どもや保護者、家族の情報は外部の者へ口外していない	8	0	0	0
・朝と帰りのあいさつは明るく親しみを込めて行っている	8	0	0	0
・保護者からの相談事はできるだけ保育終了後に受けるよう心がけている	2	6	0	0
・担任としての立場を自覚し、園の方針など保護者に対して言い難いこともはっきりと伝えている	4	4	0	0

### 4) クレームの対応

・クレームがあった場合はまず謙虚にその話を聞き、園長に連絡、報告、相談している	8	0	0	0
・対処結果を上司に報告している	6	2	0	0

## 7. 安全・衛生管理

### 1) 園内の安全対策

・園の遊具や教材についてどんな使い方をするのか、どのような使い方が危険か予測できる	5	3	0	0
・園内に危険な物、壊れた物はないか常に観察し、発見しだい対処、報告している	3	4	1	0
・消火器、非常ブザーなどの位置を把握し、使い方を理解している	2	5	1	0
・緊急事態発生時の対処、救急および緊急体制表の内容を理解している	5	3	0	0

### 2) 飲食物や薬品の管理

・飲食物の保管には十分気をつけている	7	1	0	0
・救急用品、衛生用品の保管、取り扱いには十分配慮している	8	0	0	0

### 3) 事故やけがに対する対応

・事故やけががあった時は迅速かつ適切に責任を持って対応している	8	0	0	0
・事故やけがの状況や原因を把握し、所属長・保護者に報告している	7	1	0	0
・事故やけがについて記録している	5	3	0	0

### 4) 登降園時の健康と安全への配慮

・朝の登園時や降園前の視診を大切にして子どもの体調が悪くないかを確かめている	7	1	0	0
・降園時、子どもを確実に保護者に渡している	8	0	0	0

## 8. 子育て支援

・地域開放（体験保育・行事など）について職員間で共通理解の上取り組んでいる	1	7	0	0
・未就児の保護者に対して、園の教育方針などの質問の答えることができる	1	7	0	0
・親しみやすい雰囲気をは心がけ、未就児の保護者に積極的に声をかけている	7	1	0	0

## 9. 預かり保育

・預かり保育の申し込みや料金の確認を行い、担当職員に分かるようにしている	6	2	0	0
・預かり保育利用児を把握し、体制整備に協力するよう心がけている	6	2	0	0

## 10. 期待される望ましい保育者像

### 1) 幼稚園教諭としての能力

・幼稚園教諭として専門知識や技能を身につけようと努めている	4	4	0	0
・幼稚園教諭としての文章表現を身につけるよう努めている	3	5	1	0
・子どもの性格や個性を把握するよう努め、コミュニケーションがとれる	5	3	0	0
・仕事の手順を考え、優先順位を見極め能率よく行っている	3	5	0	0
・当番や役割による仕事を理解し、確実にしている	6	2	0	0
・リーダーシップを発揮し、魅力あるクラス運営ができる	1	7	0	0
・クラス全体の状態を常に把握している	2	6	0	0
・クラス運営を行いながら、見通しを立てて園の運営や行事の準備・後片付けができる	1	7	0	0

### 2) 職務の遂行

・園の消耗品や教材は節約して使い、後で使う人が使いやすいようにしている	8	0	0	0
・職務上、知り得たプライバシーに関する情報などの秘密は厳守している	8	0	0	0
・重要書類や個人情報にかかわる資料などは適切に保管し、園外に持ち出さない	8	0	0	0
・教材・教具の管理、点検に気を配っている	6	2	0	0
・提出物は期日内に提出している	8	0	0	0
・園務分掌を把握し、見通しを立てて、自分の仕事の分担は責任を持って実行している	6	2	0	0

### 評価基準

A・・・十分できている

B・・・ほぼできている

C・・・ややできていない

D・・・ほとんどできていない

## 自己評価を終えて

- 日案の作成や日々の保育の準備などに追われ、子どもの様子を記録することがなかなかできず、学期ごとの記録になってしまった。
- 教材研究は活動前に行っているが、実際に保育をしてみると内容が難しかったり、うまくできなかつたりすることがある。まだまだ教材研究が足りないと思う。
- 安全対策、衛生管理については、職員会などでも助言しているが、なかなか継続できていない部分もあるため、気づいた時には声をかけるようにしている。
- 保護者対応についてなかなか難しい所もあり、どこまで取り入れるべきか、考えてしまうことがあった。自分はわかっているが他の職員が園の方針を理解しているかわからないところもあり、伝えていく事の大切さを感じた。
- 保護者との信頼関係を築くために保護者の方からも家庭の様子を伺うようにした。保護者対応については、常に笑顔で接するよう心掛けた。
- 物品の管理、園児の様子など、様々な場面で教職員間のコミュニケーションをとるよう努めた。共通理解をすることの重要性を強く感じた。
- 教えてもらうことや本などから学ぶことが、たくさんある中で、ただ学ぶだけでなく、今後は自分が実践できるように取り組んでいきたい。
- 子ども達の状況については、把握しつつも、子どもによっては、その子にあった指導法を見つけて指導してやることができなかつた。
- 常に客観的な目で自らの教育、保育を振り返り、さらに充実した実践ができるように努力を積み重ねていきたい。